

ご報告 地域のみなさまへ 第215回健康講座を開催しました

2025年11月12日14時から当院3階講堂にて、恒例の「健康講座」を開催させていただきました。当日は、当院の消化器内科副部長である石破博による「たかが脂肪肝、されど脂肪肝 慢性肝疾患のお話」と題し、脂肪肝疾患の概要、病的背景、食事や運動療法について、お話させていただきました。

ご参加いただいた地域のみなさまには、あらためまして御礼申し上げます。今後も継続して実施してまいりますので、ぜひご参加ください。



ご報告 クリスマス会を開催しました

2025年12月20日、当院内待合ホールにて、クリスマスイベントを開催いたしました。「音楽でつなぐ心の輪」をテーマに、和太鼓の演奏、二胡とバイオリンのコラボ、ウクレレ演奏によるクリスマスソングの合唱、キッズダンサーたちのダンスパフォーマンスとバラエティ豊かなプログラムに会場は大盛り上がり！ご来場者は100人を超えました。最後は会場のみなさんと「上を向いて歩こう」を歌い、つなぐ・つながるを共有できた時間。コロナ禍による休止を経て約7年ぶりの再開に、感激もひとしおのイベントとなりました。



病院からのお知らせ 休診のお知らせ

当院の電子カルテシステム入れ替えにつき、下記日程を休診とさせていただきます。また、時間外救急の受け入れも停止となります。
ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【外来診療休診日】 2026年3月30日(月)・31日(火) 【時間外救急受け入れ停止】 2026年3月30日(月) 0:00~4月1日(水) 9:00

“私達は人間性を尊重し、謙虚で誠実な医療を提供します”

【基本方針】
安全で良質な医療を実践し、信頼される病院を目指します。
多機能型急性期病院としてチーム医療を推進し、継続的な医療を提供します。
地域に根ざした病院としての役割を認識し、住民の皆さんの健康増進に努めます。
地域医療機関との連携を重視し、きめ細かな医療に努めます。
専門性を追求し、医療レベルの向上と人材の育成に努めます。

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company

〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1丁目2-22
TEL.06-6628-2221(代表) FAX.06-6628-2287(代表)
地域医療連携室 FAX.06-6628-4707
ホームページ <https://www.jrosakahosp.jp>

受付時間/午前8時30分~午前11時00分 診療開始/午前9時00分~
休診日/土日祝・年末年始(12月30日~1月3日)



メデイカル ぽっぽ

よりよい医療の始発駅

volume
35
2026.2

「診療科 UPDATE」
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
ドクターインタビュー
医長 谷内 政崇

ぽっぽニュース

看護部より
7階病棟のご紹介

よりよい臨床検査室へ
ウイルス性胃腸炎を予防しよう

Radiation Station
核医学検査室「骨シンチグラフィ検査」

医療ソーシャルワーカー(MSW)の役割

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company

鼻・副鼻腔領域の手術を中心に幅広い疾患に対応

大阪鉄道病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科は 2025 年6月、新たに谷内政崇医長を迎え、新体制をスタートさせました。ワンオペながらも確かな技術とあたたかな人柄でご期待に応える谷内医長の言葉を通じて、当科の今をお伝えいたします。

ドクターインタビュー

医長 谷内 政崇

(たにうち まさたか)

専門分野 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科全般

〈自己紹介〉

家に帰れば、5才を頭に3人の幼い子どもたちの父親。現在プライベートは家族第一で、妻とともに子育てを楽しんでいます。



— 赴任から半年以上経ちましたが、大阪鉄道病院はいかがですか

前任の鈴木部長・高木医長の二人と交代するかたちで赴任しました。当初より看護師やメディカルとのコミュニケーションも良好で、非常に環境に恵まれていて働きやすい病院だと思いました。お陰さまで充実した毎日をおくっています。

— 大阪鉄道病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科の特色を教えてください

これまでと変わらず、内視鏡手術を中心とした手術に積極的に取り組んでいます。当院はアクセスがよいことに加え、ここ数年でしっかりと手術の体制を整えてきたことで、登録医さんからの厚い信頼を感じています。一人体制にはなりましたが、週に一度、火曜日を手術日にあて、できる限り体制変更前に遜色のない対応を心がけています。

— 具体的には、どのような手術を行っていますか

大まかには、年間の手術数のうち半数近くが鼻・副鼻腔領域、3割が扁桃摘出、その他が2割というバランスです。一番多い鼻・副鼻腔領域の手術では、副鼻腔炎、鼻腔腫瘍、アレルギー性鼻炎に対する内視鏡手術、鼻中隔湾曲に対する矯正術など、がん以外の耳鼻科一般の症例すべてに対応しています。甲状腺領域では、がんでは唯一、転移のない甲状腺がんの手術も手がけます。その他の頭頸部外科に関しても、耳下腺腫瘍や扁桃摘出など良性疾患を中心に対応しています。詳細の内訳については右の表手術実績をご参照ください。内視鏡手術に関してはナビゲーションシステムを有し、再手術例や難治例にも対応が可能です。

— 当院のアピールポイントをお聞かせください

平均の入院期間が鼻や扁桃炎で1週間前後と短いこと、患者さんによっては局所麻酔による日帰り手術が可能なが特徴です。具体的には狭い範囲の副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎に対するレーザー手術、粘膜下甲介切除術などは日帰り手術が検討できます。また、術後の出血トラブルによる再手術は5年以上「ゼロ」を保ち続けており、技術的にも安心しておまかせいただくと自負しています。

— 手術以外の治療についてはどのように対応していますか

慢性副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎では、生物学的製剤、抗体製剤を用いた治療を行っています。顔面神経麻痺や突発性難聴には、可能な限り外来通院で点滴治療を実施します。めまいや耳鳴りに関しても、専門的な診断・治療を行っています。いびきにも、呼吸器内科と連携し対応しています。

— 先生ご自身が日々の診療で心がけておられることは

基本的に当科には年齢層・疾患ともに、幅広い患者さんがいらっしゃいます。治療させていただくのは良性疾患がメインですが、目と脳を除く首から上という広範囲に対応している当科の患者さんにとって、不快な症状は QOL に大きく関わります。それだけに、どんな悩みをもっていらっしゃるのかを細やかにヒヤリングして把握した上で、解決してさしあげてを一番に考えます。丁寧なコミュニケーションを基本に、治療方針や手術の内容に関しても、ご理解いただけるようわかりやすく説明することを大切にしています。

— 患者さんや登録医の先生方への、メッセージをどうぞ

私自身は、鼻科学を専門とし大学院では耳下腺腫瘍の研究をしていました。基本的には今後も鼻・副鼻腔領域の手術に力を入れていきたいと思っています。もちろんそれ以外も、10年に及ぶ診療経験がありますので、安心しておまかせください。どんなことでも、ご遠慮なくご相談、ご紹介いただけたら幸いです。

— ありがとうございます。

[主要手術の治療実績] 2024年度 (件数)

●耳鼻科領域	
外耳道異物除去術(複雑なもの)	3
鼓膜切開術	10
先天性耳瘻管摘出術	3
●鼻科領域	
鼻骨骨折整復固定術	4
鼻茸摘出術	7
鼻中隔矯正術	32
内視鏡下鼻・副鼻腔手術III型(前彎矯正術)	2
鼻中隔膿瘍切開術	1
経鼻的翼突管神経切除術	20
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	2
●内視鏡下鼻副鼻腔手術	
内視鏡下鼻腔手術I型(下鼻甲介手術)	90
内視鏡下鼻腔手術II型(鼻腔内手術)	4
内視鏡下鼻・副鼻腔手術II型(副鼻単洞手術)	1
内視鏡下鼻・副鼻腔手術III型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)	58
内視鏡下鼻・副鼻腔手術IV型(汎副鼻腔手術)	30
●咽頭・扁桃領域	
扁桃周囲膿瘍切開術	3
咽頭異物摘出術(簡単)	1
咽頭異物摘出術(複雑)	2
口蓋扁桃手術(摘出)	104
アデノイド切除術	2
咽後膿瘍切開術	2
●甲状腺領域	
甲状腺悪性腫瘍手術(切除)(頸部外側区域郭清を伴う)	1
甲状腺悪性腫瘍手術(切除)(頸部外側区域郭清を伴わない)	1
●その他の頭頸部領域	
口唇腫瘍摘出術(粘膜嚢胞摘出術)	2
気管切開術	2
気管切開孔閉鎖術	1
咽頭・声帯ポリープ切除(直達喉頭鏡)	2
咽頭異物摘出(直達鏡によらないもの)	1
顎下腺摘出術	3
●唾石領域	
唾石摘出術(一連につき)(表在性のもの)	1
●耳下腺腫瘍摘出術6	
耳下腺腫瘍摘出術(浅葉)	1
リンパ節摘出術(長径3cm以上)	6
創傷処理(筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm未満)	1
皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm未満)	1
皮膚切開(長径10cm未満)	1

※耳鼻手術、甲状腺を除く頭頸部悪性手術は行っておりません。

医療ソーシャルワーカー (MSW) の役割

大阪鉄道病院医療福祉相談室 病院でのお悩み解決、お手伝いします。

患者さんやそのご家族の病気をきっかけとしたお悩みに向き合い、情報提供やサポートを行う医療ソーシャルワーカー (MSW) の存在。しかし、具体的にどんな活動をしているのか、意外にご存知ない方も多いのでは。今回は、大阪鉄道病院医療福祉相談室に勤務する 5 名の MSW を代表して、岡・田嶋のふたりに仕事について語ってもらいました。



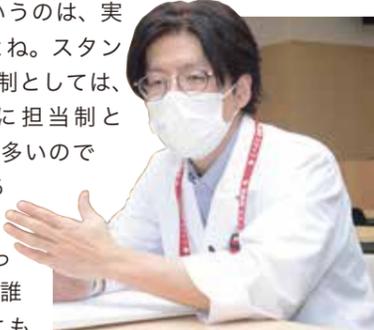
医療ソーシャルワーカー **田嶋 大輔** × **岡 生子**
(たしま だいすけ) (おか せいこ)

田嶋 私は昨年 8 月に当院に入職したばかりですが、大学卒業後、さまざまな病院で MSW として働いてきた経験があります。こちらでもお役に立ちたいと奮闘しているところです。

岡 私は大阪鉄道病院での勤務は 3 年目になりますが、それまでは介護施設でソーシャルワーカーを務めてきたので、まったく勝手が違って今も勉強の日々です。MSW のキャリアとしては田嶋さんのほうが大先輩なので、教わることのほうが多いですね。

田嶋 そんなことないです。当院は、この規模にして MSW が 5 名というのは、実は少ないんですよ。スタンダードな病院の体制としては、病棟や診療科別に担当制となっていることが多いのですが、こちらはあくまでメインの業務の振り分けはあっても、基本的には誰もがどんな仕事にも対応できるという点が大きな特徴だと思いました。みんながオールラウンダーで、誰が抜けてもフォローできるような体制になっていますよね。

みなさん気さくで話しやすく、とてもチームワークがいいと思います。それぞれが多彩な経験を積んでいて、同じような案件に対しても異なる見方、考え方があるので、困ったときに意見を求めたり話し合ったりすることが多く、勉強にもなります。



岡 田嶋さんは当院 MSW 唯一の男性で、一番の癒し系。私たちがしんどいときに聞き役になってくれていますよね。本当に助けられています。お仕事の際は、どんなことを心がけていますか。

田嶋 やっぱり忙しいそうにしていて話にくい雰囲気を出していたりすると、相談のきっかけもつけないので、ゆったり構えて話しかけやすい雰囲気を醸し出せるよう気をつけています。「この人は話を聞いてくれる人なんだな」と思ってもらえることを大切にしたいです。

岡 たしかに、常に話しやすい雰囲気でいることは大事。相談者さんが必要以上に構えずに、思うことを正直に話してくださらないと、いい支援には結びつきませんから。希望しておられることは違う方向に助言してしまい、いろいろなことが決まってから、「本当はこうだったのに」と不満に思われると残念なので、できるだけ本音を打ち明けていただけるようにしたいですね。

田嶋 そのためにも、目線を合わせてお話を聞くことも心がけています。車椅子やベッドにいらっしゃる患者さんとお話することも多いですが、高さを合わせて、しっかりと向き合うとか、さりげないことですが。あと、マスクのためお顔もわかりにくい状況ではありますが、できるだけ表情を読み取り、自分もにこやかな表情で安心していただけるように努めています。



医療ソーシャルワーカー (MSW) ってどんな仕事?

病院を利用される患者さんが安心して治療に専念し社会復帰できるよう、相談に応じ、解決を支援する専門家。患者さんやそのご家族が抱える経済的・心理的・社会的な問題に対して、社会福祉の専門家として制度の活用や地域の関連機関との調整など、幅広いサポートを提供します。



岡 ご本人だけでなく、キーパーソンの方が介護認定を受けておられる場合などもあるので、ご説明を理解していただいているか反応をよく確認することも欠かせませんよね。場合によっては何度でも同じ説明をして、少しでもわかっているようにしています。ご相談の内容は本当にさまざまですが、なかには何を相談すればいいかわからない、という方もいらっしゃいますから、これまでの経験を生かしお相手の立場を考えながら寄り添っていきたくいですね。

田嶋 お金がない、身寄りがないなど、ハードなお悩みも多いですが、MSW としての知識や情報を生かし、できる限りのことをして次のところに引き継げる体制をつくりバトンタッチするのが私たちの役割。どんなことも、恥ずかしいと思わずに打ち明けていただけたらと思います。退院支援では当院の看護師やスタッフ、転院先との連携、ご自宅に戻られる場合はケアマネさんとの連携など、病院内外での多職種とのつなぎ役になることも多いです。常に情報を収集し、人脈を広げることも意識しています。

岡 急性期病院の役割としては、病状が落ち着いたら退院して次の段階へということになるのですが、患者さん側としては「どうしても少しいささせてくれないの」という不満にもつながることもあります。そこをご理解いただきながら、諸条件を考えて、最良の策を考えていくようにしなければなりません。やはり、みなさんおうちにお戻りになられたいのですが、状況的に無理な方もいらして。そんななかで、リハビリをがんばられおうちに戻れたよ、というご報告を聞いたときなどは、本当によかったと思いますね。

田嶋 以前に相談を受けた患者さんが、また病院に見えた時に、「あのときはありがとう」とお声がけくださり、嬉しい事後報告を伺えたりすると、ちゃんとかかわっていたのかなと思って、ほっとします。

岡 今後はやはりもっと体制を整えて、より多くの方にお気軽にご相談いただけるようにしたいですね。



カウンセリング風景

田嶋 援助の質を落とさないためにも、よりゆとりをもって対応できるようになればと思います。あとは私たちの存在を知っていただくこと。専用の部屋がないこともあり、まだまだ当院 MSW の存在自体を知らない患者さんやご家族も多いように思います。もちろん、気になる患者さんは入院時に看護師からお声がけするといった配慮なども行き届いていますが、できるだけ早い段階で介入できれば、それに越したことはないですから。

岡 当院には 5 名の MSW がいて、プロフェッショナルとして個人情報や守秘義務に配慮しつつ、お悩みごとの相談に対応しますよ、ということを広くお伝えしたいです。もし専門外のことであっても、きちんと専門家につなぐようにしますので、まずは頼っていただきたいですね。

田嶋 ぜひお気軽にと申しあげたいです。お時間をとおとりして落ち着いてお話いただくためにも、病院の代表番号へのお電話か、インフォメーションコーナーでご予約いただければと思います。そのときに、簡単でいいのでご相談の内容をお伝えいただければ、こちら準備して対応することができます。

岡 より多くの方のお役に立ちたいですね。これからもがんばってまいりますので、どうかよろしくお願います。

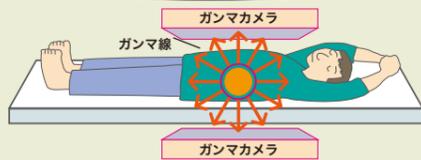
核医学検査室 ご存知ですか？「骨シンチグラフィ検査」のこと

今回は、核医学検査室で行われている「骨シンチグラフィ検査」について詳しくご紹介いたします。

どうやって検査するの？

放射線を出すラジオアイソトープ (RI) でのしをつけた (標識した)、骨に集まる性質の薬 (放射性医薬品) を注射して、そこから出る放射線 (γ線=ガンマ線) を検査カメラが集めて全身の骨の様子を確認します。薬は骨の代謝や反応が盛んな部分に多く集まるので、骨の状態が変化している部分を見つけやすいのです。

カメラは接近するけど、センサーがついていて身体には当たらないようになっているよ



薬の影響は？

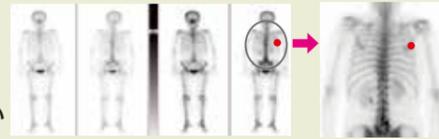
薬から検査に必要な放射線が出ていますが、副作用の報告も少なく、ごく微量なので心配ありません。体内の放射能は、体外に排泄されたり、体内で減衰して時間と共に減少したりします。

注射する RI 製剤は 2ml だよ



何がわかる検査なの？

全身の骨の様子を写真に撮って、
★がんの骨転移
★外傷等による微小骨折
★骨の炎症
など、X線検査ではわかりにくいさまざまな骨の状態が調べられます。



骨転移、炎症があると薬が集まりやすいよ

検査当日の流れは？

- 1. 薬を注射**
検査に必要な薬を静脈注射します。
※注射から検査まで、2-3時間程度お待ちいただきます。骨に薬が十分に集まるまでに必要な時間です。お食事や水分は通常通り摂っていただいても大丈夫です。
- 2. 排尿**
薬が尿中に排泄されます。膀胱に薬が残っていると正確な写真が撮れません。
- 3. 検査**
装置に仰向けで寝ます。検査時間は約30分で、全身を撮ります。動かないでリラックスしてください
- 4. 検査終了**



ようこそ臨床検査室へ

【大阪鉄道病院の臨床検査室】

ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス) を予防しよう

冬場に感染者が急増するノロウイルスは、胃腸炎の原因となる一般的なウイルスです。今回は、その注意点や予防法についてお話しします。



〈ノロウイルスの特徴は？〉

感染力が強く、感染すると胃腸炎症状 (吐き気・嘔吐・下痢・腹痛) が生じます。潜伏期間は1~2日と短期間で、高齢者や乳幼児、抵抗力の弱っている方では重症化するケースも。症状が治まってもウイルスはしばらく糞便を通して身体から排出されるので、感染を広げない注意が必要です。

〈感染経路〉

ほとんどが経口感染で、牡蠣などの貝類の生食が原因になることが多いです。このほか、感染者の糞便・嘔吐物の処理時に感染するケースも少なくありません。ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することもあるので、感染者の糞便・嘔吐物は残らないように処理し、十分に換気を行いましょう。

〈感染時期〉

1年を通して発生しますが、11月上旬から増加し始め、12~1月が発生のピークとなる傾向が見られます。

〈感染予防〉

- ・食品にしっかり火を通す！ (ノロウイルスの不活化 (消毒) は 85°C・1分以上 or 75°C・5分間の加熱が有効です)
- ・石鹸と流水で手洗いをしっかりと！
- ・環境 (ドアノブやカーテン、寝具、日用品など) の消毒時は、アルコールでは死滅しないため、次亜塩素酸ナトリウム (ex. ハイター) の使用を推奨します。
- ・感染した患者の下痢便・嘔吐物は使い捨ての手袋やマスクでしっかり感染対策し、速やかに処理しましょう。



看護部より

7階病棟のご紹介

7階病棟は、「循環器内科」「糖尿病代謝内科」「消化器内科」の急性期混合病棟です。CCU (重症の循環器疾患患者を対象とした集中治療室) に準じた重症患者さんへ専門的な看護を提供しています。学習会でスキルアップし、急変時にも迅速に対応できる体制を整えています。また心臓カテーテルや内視鏡の検査・治療を安全に安心して受けられるよう、支援しています。

患者さん自身が退院後も病気とつきあいながら、その人らしく過ごせるように、医師・看護師・薬剤師・栄養士・リハビリ技士・慢性心不全看護認定看護師・心不全療養指導士・糖尿病療養指導士など多職種が連携して、チーム医療に取り組んでいます。

患者さんやご家族からの「ありがとう」「手厚い看護のおかげで救っていただきました」等のお言葉・手紙や笑顔を励みに、今後もよりよい看護を提供できるように努めてまいります。



多職種カンファレンスの様子



学習会の様子

ぽっぽニュース

ご報告

看看連携交流会を開催いたしました

去る2025年10月10日、入院患者さんが在宅復帰される際、スムーズに地域の医療従事者へ引継ぎができるよう、顔の見える関係構築に向けて、当院の講堂にて訪問看護師と看看連携交流会を開催いたしました。

今回は、「在宅看護の実践について」訪問看護ステーションから事例を紹介頂き、病院スタッフが在宅環境の理解を深めることができました。また、グループに分かれて、日頃、感じている不安などの思いをみんなで意見交換する機会を設けさせていただきました。

交流会を通じ、今後の患者支援に役立つさまざまな情報やノウハウが共有できました。ご参加いただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。今後もこのような交流を通して、地域のみなさまと信頼関係を育んでまいりたいと考えています。

